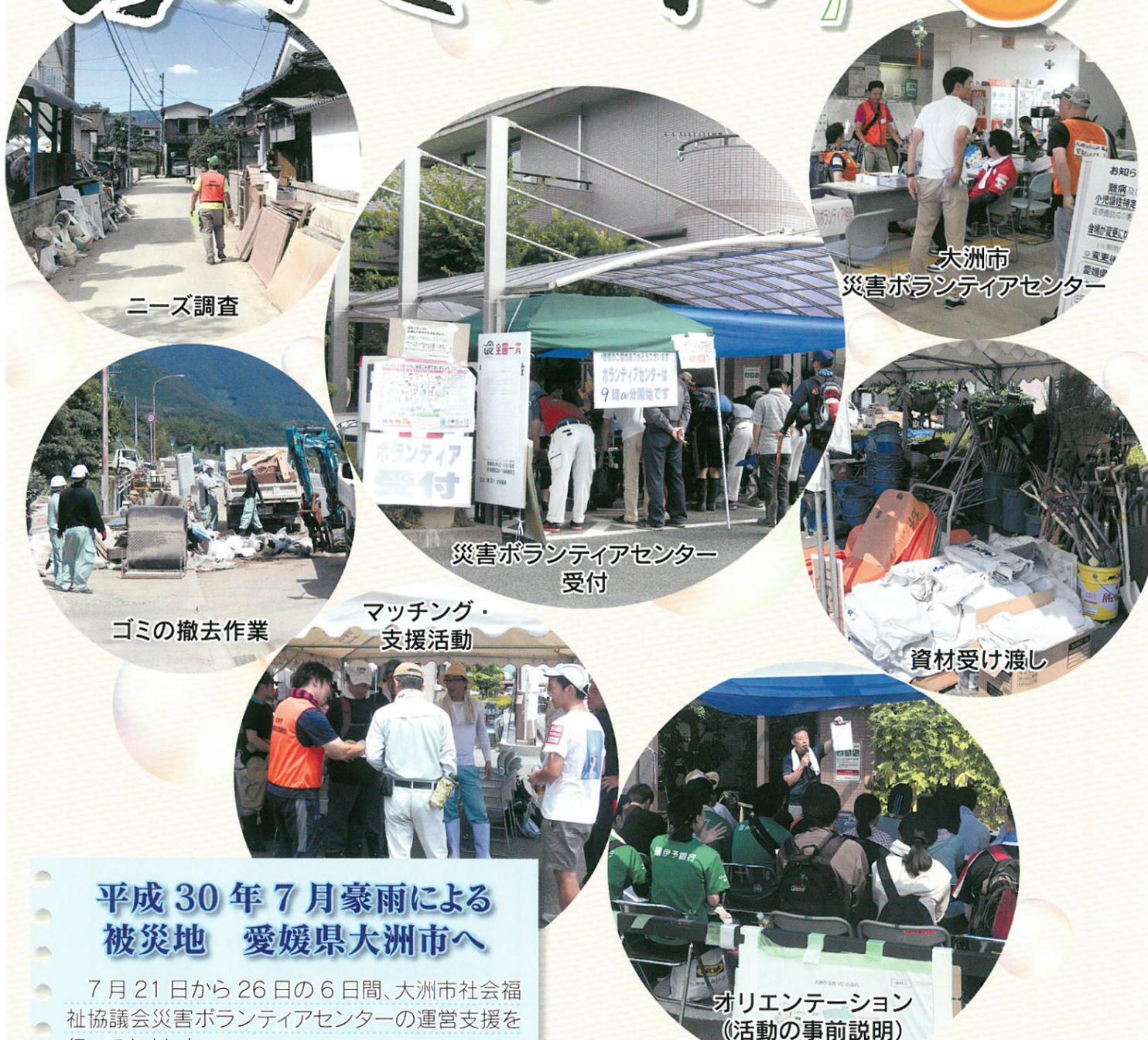


ふくしの木

2018.9
No. 34



平成30年7月豪雨による被災地 愛媛県大洲市へ

7月21日から26日の6日間、大洲市社会福祉協議会災害ボランティアセンターの運営支援を行ってきました。

現地では、参加されているボランティアへの「オリエンテーション」や、被災地への「ニーズ調査」などの活動を行いました。

今まで、定期的な訓練は行っていましたが、初めての被災地での災害ボランティアセンターの運営に参加し、訓練では学ぶことができない多くの学びを得ることができました。(地域福祉課 古井)

Contents

- 理事・評議員改選のご報告 ①
- 美馬市生活支援相談センター「暮らしサポートみま」
- 平成29年度事業ならびに事業活動収支決算報告 ②
- 社協会員会費 ③
- 美馬市善意銀行

ふくしの木

第三十四号 発行日/平成三十年九月 発行/社会福祉法人美馬市社会福祉協議会 〒779-3610 徳島県美馬市脇町大字脇町三〇三番地三
電話(〇八八三)五三一七四三三 FAX(〇八八三)五三一六四七五 e-mail mimashi@tokushima-shakyo.jp

社協会員会費納入のお願い

◆会員の区分 普通会員(会費一口 500円)
特別会員(会費一口 1,000円)
全世帯のみなさまに普通会員として加入をお願いしています。特に社協の福祉事業推進にご賛同ご協力いただける方は、特別会員として、ご協力をお願いします。

◆会員会費募集推進期間 10月1日～10月31日
会員会費の募集は、毎年10月に福祉委員(自治会長)を通じて、全世帯をお願いしています。会員会費の募集は、年間を通して行っていますが、毎年10月を会員会費募集推進期間としています。

皆さまからお寄せいただいた会員会費は、事業計画に基づき活用させていただきました。

◆地域福祉活動事業

○第2次地域福祉活動計画



協町地区



穴吹地区



美馬地区



木屋平地区

○社協広報費

○ふれあい福祉総合相談

○会員会費募集事務

○県社会福祉大会参加

○自主防災訓練



◆ボランティアセンター事業



○第13回社会福祉大会



美馬市善意銀行

認知症高齢者等GPS機器導入費用助成事業のお知らせ

- 対象 美馬市内に在住する徘徊高齢者等を在宅で介護されている方
- 助成対象経費 本会が指定する機器を利用する際の初期導入費用

詳しいことは、社会福祉法人美馬市社会福祉協議会 総務課 ☎53-7432まで



平成29年度

社協の事業ならびに事業活動収支決算報告

5月に開催されました理事会、6月に開催された評議員会において、平成29年度社会福祉法人美馬市社会福祉協議会事業報告ならびに決算報告が承認されました。

平成29年度事業報告（要旨）

1 組織の基盤強化と社協事業の総合的推進

- 社会福祉法改正に合わせて理事・監事及び評議員の改選を行い、評議員選任・解任委員会を開催し、評議員を選任することで役員体制の整備を行いました。
- 役員研修は、社会福祉法改正や地域福祉の動向についての研修会を行うことで、役員と職員が共通認識を持つことができました。また、安全衛生委員会では休暇制度やストレス軽減についての検討を行うことで、安全で快適な職場づくりにつなぐことができました。
- 社協会費の募集を行い、各種事業や助成等に活用し、地域福祉の推進を行いました。
- 財務管理検討委員会を開催し、善意銀行基金や社会福祉協議会の積立金の運用について協議を行いました。
- 善意銀行運営事業は、一般寄附や香典返し寄附等の預託を、地域福祉活動計画や地域等へ払い出しを行い、新規事業として緊急用食料品等給付事業や認知症高齢者等GPS機器導入助成金事業を開始しました。
- 市社会福祉大会は、社会福祉事業に功績のあった方等に対する表彰、感謝状の贈呈並びにダイヤモンド婚・金婚の祝い状の贈呈を行い、参加者の福祉意識の高揚に繋がりました。
- 社会貢献事業（美馬市くらしサポートネット事業）は、ネーミング、マスコット、看板の設置、パンフレットの作成を行い、相談窓口を市内7つの社会福祉法人事業所に開設し、法人が身近な場所であると市民に認識されました。

2 地域福祉力の向上と福祉人材の育成

- 在宅福祉事業は、高齢者・障がい者が住み慣れた地域で継続して生活できるように支援を行いました。
- 地域介護予防活動支援事業は、地域の高齢者が自ら活動に参加し、介護予防に向けた取組みが主体的に実施されるような地域社会の構築を目指して事業を実施しました。
- 認知症高齢者見守り事業は、認知症に関する広報・啓発活動や、小地域生活支援ネットワーク事業の推進などを通して、地域における認知症高齢者の見守り体制の構築に取り組むことができました。
- 第2次地域福祉活動計画実行委員会は、当年度が5年計画の最終年度であり、各地区において年度計画を立て、事業を実行しました。また、第3次地域福祉計画の全体のテーマを「ちょろで地域づくり」として、脇町・美馬・穴吹・木屋平地区で住民座談会での意見を取り入れながら、7回の策定委員会を開催し、第3次地域福祉活動計画（平成30年度～平成34年度の5年間）を策定しました。

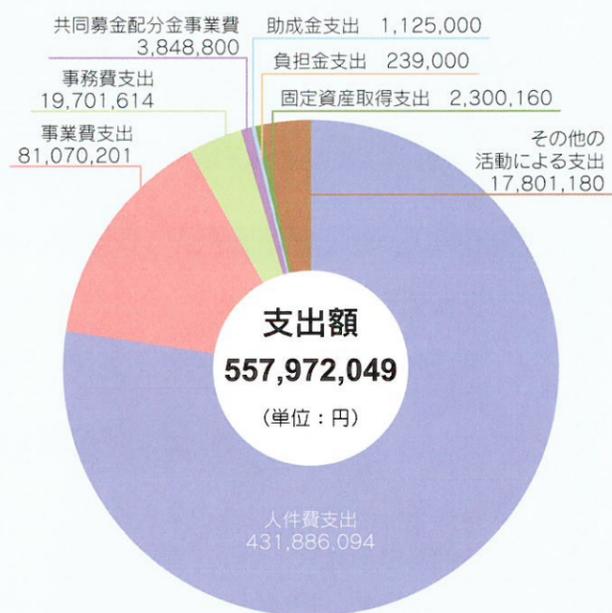
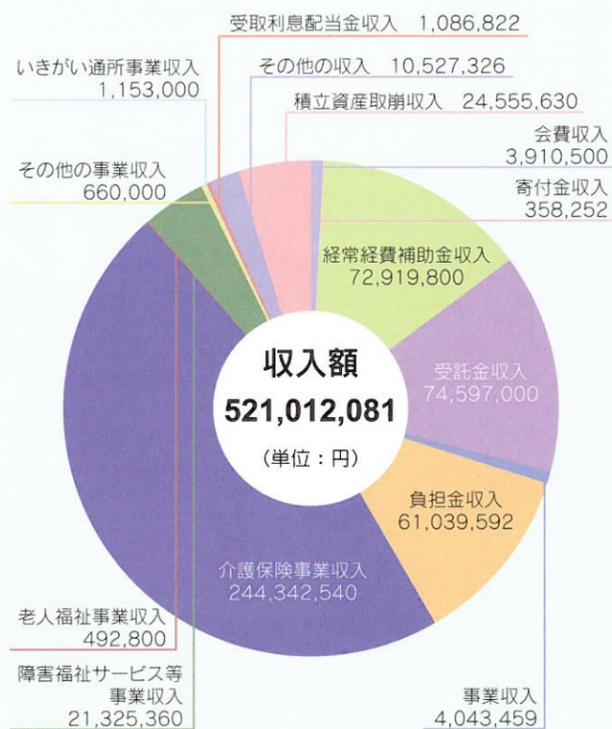
3 総合的な相談支援体制の確立と個別支援及び権利擁護の確立

- 法人後見センター事業、日常生活自立支援事業の推進により、利用者の権利擁護の確立と尊厳の保持に努める支援ができました。また、地域連携ネットワークの整備・運営の中核機関としての検討が今後の課題です。
- 生活困窮者自立支援事業では、日常生活を営む上で直面する様々な生活困難課題の緩和及び解消の為に、多関係機関との連携を図りつつ、役割分担と重層的な関わりで個別ニーズに沿った支援を行うことができ、社協としての役割を果たすことができました。

4 地域住民から必要とされる福祉サービスの提供

- 福祉サービスレベル向上及び収支改善のため、県や市、各関係機関等が実施する外部研修に積極的に参加するほか、定期的に内部研修を実施しました。
- デイサービスセンター2か所へ足湯浴「北投石盤癒」、1か所へマイクロ波治療器「マイクロサーミー」と乾式ホットパック装置「オージーバックス」等を導入し、サービスアップを図ることができました。
- 安定・継続した福祉サービス提供のため、処遇改善交付金を積極的に活用し、介護人材の確保と働きやすい職場づくりに取り組みました。

【平成29年度 決算の概要】



※収支差額(36,959,968円)は前期末支払支金残高を充当

美馬市社会福祉協議会 理事、評議員改選のご報告

新理事 2名	
【任期】平成29年6月28日から2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の時まで (敬称略)	
氏名	選出区分
川西 仁 (就任日 H30.6.15)	学識経験者
村岡 直美 (就任日 H30.6.15)	教育関係団体

理事・評議員の一部の方が退任されたため、次の皆様の評議員会、評議員選任・解任委員会において選任されました。

新評議員 1名	
【任期】平成29年4月1日から4年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の時まで (敬称略)	
氏名	選出区分
川口 種満 (就任日 H30.6.6)	社会福祉行政機関

美馬市生活支援相談センター 「暮らしサポートみま」

ひとりで悩んでいませんか？

美馬市生活困窮者自立支援事業

自立相談支援事業

【暮らし】【仕事】【家計】のことなど、一人ひとりの悩みに応じて解決策を考え、寄り添いながら生活の立直しに向けた支援を行っています。

どなたでも無料・秘密保持で相談に応じていますので、悩みや不安・お困りごとがあれば、ひとりで悩まずにご相談ください。

家計相談支援事業

状況に応じて、家計に関する悩みを解決に向けて一緒に考えていきます。

日常的な金銭管理から多重債務のお悩みまで、家計に関するご相談をお受けし、家計の状況を「見える化」しながら、生活を整えるよう一緒に考えていきます。

就労準備支援事業

すぐに就労する事が困難な方に、知識の習得など就労に向けたお手伝いをします。

※就労支援講座の開設
①市内の就労体験受入先の協力によるさまざまな業種の就労体験を行います。
②パソコン講座・介護体験講座など

個人情報
は
厳守
します

食料品提供に
ご協力をお願いします

寄付していただきたい食料品

- ◆穀類(お米・乾麺・小麦など)
- ◆保存食(缶詰・カップ麺など)
- ◆乾物(海苔・豆など)
- ◆各種調味料・食用油
- ◆インスタント食品・レトルト食品

(以上の食料品で賞味期限内・未開封のもの)

☎0883-53-7830 ☎0120-760783
(フリーダイヤルは携帯・PHSからは利用できません)

●ご利用時間/月曜日から金曜日(祝・年末年始を除く)
午前9時から午後4時